

庁議の概要

開催日 平成 28 年 9 月 13 日（火）

◎項 目

- 1 平成 28 年高知県地価調査結果の概要について【土木部】
- 2 政策提言の概算要求への反映状況について【東京事務所】
- 3 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内 容

1 平成 28 年高知県地価調査結果の概要について【土木部】

土木部より、資料に基づき地価調査結果の概要について説明が行われた。

（土木部）

地価調査は、国が行う地価公示とあわせて一般の土地取引に対する指標を提供するなどの目的で、毎年 7 月 1 日を価格判定の基準日としており、県下全市町村 240 地点で調査を行った。

調査結果のポイントとしては、対前年平均変動率は、住宅地、商業地、全用途ともに下落しているが、全国順位に大きな変動はない。

地価調査に基づく地価動向は、住宅地、商業地、全用途ともに下落幅は縮小しているものの、下落が長期間続いている。

考えられる主な要因として、全体的には、連年にわたる地価の下落により割高感が緩和されてきたということが考えられる。住宅地については、住宅需要は高台や内陸部へシフトしており、沿岸部では需要の減退が依然としてみられる。商業地については、高知市中心部において図書館などの公共施設の建設が進み、賑わいを取り戻しつつあることから、下落幅は縮小傾向がみられる。

2 政策提言の概算要求への反映状況について【東京事務所】

東京事務所より、資料に基づき政策提言の概算要求への反映状況について説明が行われた。

（知事）

概算要求が実際に予算化されるよう、年末に向けて、引き続き政策提言をしていかなければならないので、よろしく願います。時機を見た政策提言は非常に大事であり、議論の要所要所に応じて、さらに省庁側のニーズに基づいて臨機応変に対応していくことが大事だと思うので、東京事務所において引き続き情報収集をよろしく願います。各部局においても取り組みをよろしく願います。

3 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 高知家まるごと海外発信事業について

(文化生活部)

「高知家まるごと海外情報発信事業」は、番組を制作して、まんがを切り口に高知の魅力を海外に発信する新規事業で、先週 9 日に内容を公表したところ。

3 回シリーズで、第 1 回の放送日は、全国向けとして 9 月 24 日に BS フジで午後 2 時から、県内向けとして 9 月 30 日に高知さんさんテレビで午後 7 時から、共に 55 分間放送する。この内容を 30 分に編集し、海外版として NHK ワールドで 10 月 21 日と 22 日に 30 分番組を計 4 回放送する予定である。

今後、第 2 回目が 11 月、海外版は 12 月に、第 3 回目は 1 月、海外版は 2 月に放送する予定である。

○ 県内の若者の投票率について

(教育委員会)

先週 9 日に総務省が公表した 7 月の参議院議員選挙における 10 代の投票率について、全国平均が 47% 近くのところ、本県は約 31% で全国最低であった。

要因として、1 つは、親世代も全国最低の投票率であったことの影響と、県外の大学等に進学した生徒が住民票を移しておらず、投票しづらかったことが多かったのではないかと思っている。

昨年度末までに、全ての高校で、当時の全学年を対象にして選挙制度の説明や模擬投票を行っており、政治的な教養に関する教育についても指導計画をつくって対応しているので、引き続き、こういったことに力を入れて、投票率の向上に向けて頑張りたい。

○ 定期監査結果について

(監査委員事務局)

本庁の定期監査結果がまとまった。指摘事項は 7 件で、昨年の 5 件と比べて若干増え、注意事項も 94 件で、昨年の 83 件から増えている。

指摘事項の具体的な内容は、補助金において消費税込みで交付決定していたが、その後交付先が消費税の仕入控除を受けたことから、消費税分の返還が必要にも関わらず手続きが行われていないケースや、契約事務において、指名競争入札で不落となり随意契約に移行する際に、本来は相手方から見積書を何回ももらうところ、予定価格に基づく見積限度額を相手方に示して契約を結んだケースなどがあった。

また、歳入歳出決算審査においては、遊休財産の処分及び有効活用についてより一元的に効率的な取り組みを進めてはどうか、公務中の交通事故の減少に向けてより強力に取り組まれないか、財務に関する事務において若いうちに会計事務を経験させるよう重点的に取り組んではどうか、といった意見を付している。

○ 知事からの話

(知事)

9 月議会に向けて、それぞれの計画について上半期の仕上げを行い、議会でしっか

り説明をし、さらに来年以降の構想を練り始める時期となっているので、しっかりと取り組みを進めていただきたい。

特に、上半期の執行状況を下半期や来年度以降の構想づくりに生かすことが大事である。そのためにも上半期の執行状況をよく把握し次につなげていくという基本動作を徹底していただきたい。